

花さき山

令和2年度
飯豊町立飯豊中学校
第1学年だより
第38号
2020.12.18
文責：小松正義

学年自治会自主企画 学年レクを行いました

11日（金）、学年部会行事の時にできなかった学年での遊びの時間を約束通り行うことができました。数日前に、「どのように遊ぶかは自治会に任せるよ。」と投げかけました。数日後の返答は、「みんなで一緒にすることに決めました。鬼ごっこ（警泥）とドッジボールです。」「ただ遊ぶだけは、昼休みでもできるので、みんなと、そして学級対抗にできるものにしました。」準備する時間も取れないのに大丈夫かな、という思いもありましたが、自治会に任せることにしました。

当日、みんなを体育館に集め、しっかり指示を出し、自分たちで時間設定もして楽しんでいました。自治会メンバー以外の人もしっかり協力し、楽しんでいました。1年生の良さを再発見しました。「面倒くさいからただ遊ぶのではなく、みんなで一緒にという発想にすぐ立てること。」「自治会が決めたことに従い、しっかり楽しんで答えを返すことができる仲間がいること。」これが今の1年生の良さなのだと思います。互いが互いの立場を考え協力する姿を、今後も伸ばしていきたいなあと感じました。



読書フェスティバル

「花さき山」の読み聞かせ



11日（金）学年集会で「花さき山」の読み聞かせを行いました。全校生に各学年毎読み聞かせを行いました。1年生は年度当初から、いつかは行いたいと思っていた「花さき山」を選びました。学年だよりのタイトルに込めた思いをようやく子ども達に伝えることができました。

私（学年主任）の読み聞かせでしたので、不安はありましたが生徒は集中して聞いてくれました。担任は自分のクラスに向けて、大型絵本をめくりました。学年3名による共同作業でした。感想はお子さんに直接聞いてみてください。

それぞれの年代で、感じ方も違ってくるのが絵本の良さです。是非ご家庭でもいろいろな絵本に触れてみてはいかがでしょうか。大作を読み切ることだけが読書ではないはずです。



家庭科 献立作り(リクエスト給食を意識して)

飯豊町のリクエスト給食は、自分が食べたい物をただお願いするだけでなく、栄養のバランスを考えて、献立を立てるところから始まります。

小学校では、各グループ毎に話し合っていたようですが、中学校では家庭科の授業の一部として、個人で献立を考えています。バランスを考えて献立を立てることは、普段自分で好んで食べているものが、からだに良いのかそれとも悪影響が強いのかに気づくことにもつながります。生涯にわたって必要な知識になりますので、しっかり身につけてほしいと思います。どんな献立が、中学1年生のリクエスト給食となって登場してくるのか、今から楽しみにしています。

各家庭の献立のバランスを子どもと共に診断するのも、良いコミュニケーション作りになるかもしれませんね。